

『郷土を愛し、理解する活動（七宝焼づくり・おまつの学習を通して）』

宝小学校

1 目的

- (1) 宝小学校区にある七宝町遠島地区の伝統工芸品七宝焼の制作や学習を通して郷土の伝統工芸のすばらしさを理解し、郷土を愛する心を育てます。
- (2) 校区の七宝町沖之島地区には、前田利家の正室おまつの方生誕地があり、おまつの学習を通して、地域を愛し、理解する取組を行うことで人物像や時代背景に迫り、郷土愛を高めます。
- (3) 「道徳科」「社会科」「図画工作科」「総合的な学習の時間」を中心にした横断的な授業を展開することで、郷土学習をより効果的なものとします。

2 内容

(1) 【七宝焼体験】(3・4年)

3・4年生が七宝焼アートヴィレッジを訪問し、七宝焼の歴史や制作の概要を学習しました。その後、3年生は銅素地で、4年生は白素地で七宝焼の小物づくりを体験しました。

(2) 【七宝焼学習会】(5年)

5年生が七宝焼アートヴィレッジを訪問し、七宝焼の制作過程を教えていただきながら、バックヤードを見学し、七宝焼への理解を深めることができました。その後、遠島地区にある七宝焼の窯元の方のお話を聞き、伝統的な方法で七宝焼を制作する職人の方の技にふれ、話を聞くことにより、地域の伝統工芸に尊敬の念を抱くことができました。

(3) 【七宝焼教室・卒業制作】(5・6年)

地域の七宝焼文化クラブの方を講師として招き、5・6年生が、絵付け・釉薬のせ・焼成までの過程を体験しました。5年生は講師の方の指導のもと各プレートに個人作品を制作しました。6年生は5年生での経験をもとに卒業制作として、自分たちで釉薬をのせ、共同作品をつくり上げ、講師の方に焼成していただきました。卒業制作の作品は卒業式会場やアートヴィレッジで展示し、保護者・地域の方に見ていただきました。その後は校内に展示することで、卒業後も母校の伝統に誇りをもち続けることができます。



【令和7年度卒業制作】

(4) 【郷土学習】(3・6年)

3・6年生が社会科学習の一環として、おまつの方生誕地を訪れ、おまつの方保存会の方を講師として、説明をしていただいたり、調べ学習を行ったりしました。これらの作業を通して、おまつの方の生涯や時代背景、人物像などや資料をもとに知ることができ、郷土愛を高めることができました。

3 評価

3年生から6年生まで、4年間継続して七宝焼を学ぶことで、七宝焼に興味・関心をもち、制作への理解を深め、卒業制作の作品づくりに生かすことができました。また、七宝焼を制作する職人の方の話を聞き、作品づくりの過程を間近で見ることによって、職人の方が伝統工芸である七宝焼を継承していく思いを感じ、郷土について理解を深めることができました。

おまつの方の学習では、自分たちの住む町が、天下統一の立役者となった武将に深く関わるおまつの方の生誕地であることについて、地域の保存会の講師の方のお話を聞き、おまつの方について理解し、郷土を誇りに思う気持ちを育てていきたいと思います。

4 課題

地域の伝統工芸である七宝焼については4年間にわたる体験を通し理解を深めてきました。また、おまつの方の学習については、3年生での学びをもとに、歴史を学ぶ6年生においてさらに発展させてきました。今後は、これらの学びを整理し、分かりやすくまとめて情報発信していきたいと考えます。そうした活動を通して、伝統工芸や地域にゆかりのある人物について理解し、郷土を大切にしていこうとする気持ちを育てていきたいと思います。

1 目的

- (1) 学習の中にさまざまな体験活動を取り入れ、地域の人々とふれあい、学びあうことにより、豊かな心を育てると共に、地域との連携を深め、コミュニティスクールの取組を進めます。
- (2) 外部講師を積極的に招聘してさまざまな立場の人たちとふれあうことで、幅の広い学習活動を展開し、児童のコミュニケーション能力を向上させると共に、自信をもたせ自己肯定感を高めます。
- (3) 校内現職教育等を計画的に進め、教師力を向上させ、学びの質を高めます。

2 内容

(1) 【なかよし班による異学年交流】（全学年）

1年生から6年生の異学年でなかよし班をつくり、金曜日のなかよしタイムでふれあう活動を行いました。なかよしタイムで遊んだり、児童集会で一緒に活動したりしました。温かい雰囲気の中で、1年生から6年生で交流することができました。



【宝っ子タイムの様子】

(2) 【宝っ子タイム】（全学年）

温かい人間関係づくりや対話的な学びを行う基礎として、ソーシャルスキルトレーニングと構成的グループエンカウンター要素を取り入れた活動を行いました。今年度は、なかよし班での宝っ子タイムも行いコミュニケーション能力の向上を図りました。

(3) 【小中連携】（6年）

6年生が七宝北中学校を訪問し、小中交流会を行いました。中学生とともに、オーケストラの演奏を鑑賞し、会の途中でオーケストラの伴奏で中学生と一緒に「花は咲く」の合唱をしました。今年度も自作した弁当での中学生との会食をして中学生との交流を深めました。

(4) 【ハッピートーク】（5年）

ハッピートークアカデミー協会の方を講師として招き、人との関わりに必要なコミュニケーションスキルについて学びました。「友達と仲良くなる言葉」「自分を好きになる言葉」などを考える活動を通して、自己肯定感を高めるよい機会となりました。

(5) 【N I Eの取組】（全学年）

N I E実践指定校として2年目の取組では、新聞を通じて多様な情報に触れ、その中から、自分が選んだ記事の内容をイメージして絵に表す活動を行いました。これは自分の考えを他者に伝える機会となりました。また、よりよい要旨にするために、必要なことを考え伝え合う活動を通して、言語能力や表現力の向上を図りました。これらの取組について愛知県N I E事例報告会で発表をしました。

(6) 【地域の方とふれあう会】（1・2年）

スクールガードなどでお世話になっている老人会の方々を学校に招待し、感謝の気持ちを表しました。昔の遊びを教えていただき、その後一緒に給食を食べ「ふるさと」の歌を披露し、交流を深めました。

3 評価

中学生、地域の方、外部講師の方など、さまざまな人との交流による体験活動や学習は、単学級の児童にとって豊かな心を育み、コミュニケーション能力を高めるとともに、自己肯定感を高めるよい機会となっています。また、N I Eの取組によって、社会的な情報に触れ、そこから考えたことを他者に伝えることで理解を深めることができました。

4 課題

これからも地域の方や外部講師の方を積極的に招いて、さまざまな人とふれあうことで、幅の広い学習活動を展開し、地域との連携を深め、コミュニティスクールの取組を進めていきたいと思いをします。